



「親亡き後」のサポート体制を検討

「地域生活支援拠点等整備事業」



柳川市・みやま市において、障がいのある方が親亡き後どのような支援体制があれば安心して自立した生活を送ることができるか、社会福祉法人たからばこを中心に行政や支援機関が話し合いを続けています。この支援体制を作っていくことを「地域生活支援拠点等整備事業」と言います。たとえば、緊急時にどのように対応していくか、親がいなくなった後の生活に備えるために体験の機会をどのように作っていくかなどについて考えています。



親亡き後のことを相談しやすい環境を作るため、相談できる場所をお知らせ（広報）したり、相談しやすいように身近な支援者にもこの「地域生活支援拠点等整備事業」のことを知ってもらう必要があります。支援者側の課題は、行動障がいがある方や医療的ケアを必要とする方など障がいの特性に合った支援していくために専門性の向上が必要です。また、福祉業界に限らず人材不足が深刻化しています。この状況の中で行政機関や支援機関が協力していくことは必要不可欠ですが、地域住民の方の理解や協力も大切になってきています。

障がいのある方が地域や施設で地元の方々の理解や協力のある中で、安心して生活できる環境を作っていくように引き続き取り組んでいきます。

